

製品名: RFC3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17050**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	RFC3
別名	RFC3; Replication factor C subunit 3; Activator 1 38 kDa subunit; A1 38 kDa subunit; Activator 1 subunit 3; Replication factor C 38 kDa subunit; RF-C 38 kDa subunit; RFC38
遺伝子 ID	5983.0
SwissProt ID	P40938
免疫原	抗血清はヒト RFC3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 178-227

背景

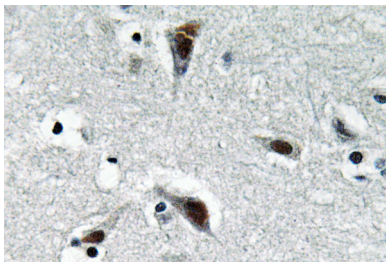
DNA ポリメラーゼデルタおよび DNA ポリメラーゼイプシロンによるプライミングされた DNA テンプレートの伸長には、増殖細胞核

抗原 (PCNA) および複製因子 C (RFC) という補助タンパク質が必要です。RFC はアクチベーター 1 とも呼ばれ、140 kDa、40 kDa、38 kDa、37 kDa、および 36 kDa の 5 つの異なるサブユニットからなるタンパク質複合体です。この遺伝子は 38 kDa サブユニットをコードします。このサブユニットは、140 kDa サブユニットと、36 kDa、37 kDa、および 40 kDa サブユニットからなるコア複合体との相互作用に不可欠です。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: DNA ポリメラーゼ δ および ϵ によるプライミングされた DNA テンプレートの伸長には、補助タンパク質である増殖細胞核抗原 (PCNA) およびアクチベーター 1 の作用が必要である。、PTM: DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。、類似性: アクチベーター 1 小サブユニットファミリーに属する。、サブユニット: RFC2、RFC3、RFC4、および RFC5 サブユニットからなるヘテロ四量体で、RFC1 または RAD17 と複合体を形成できる。前者は ATP 存在下で PCNA と相互作用するが、後者は ATPase 活性を有するものの PCNA による刺激を受けない。、

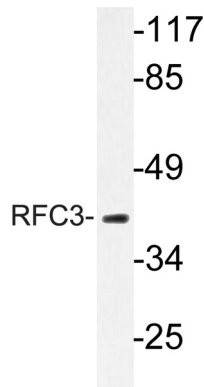
研究分野

DNA 複製、ヌクレオチド除去修復、ミスマッチ修復

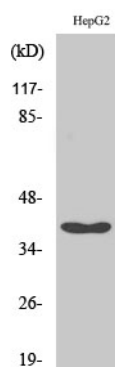
画像データ



パラフィン包埋ヒト脳組織における RFC3 抗体の免疫組織化学分析。



RFC3 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウエスタン プロット分析。



RFC3 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタン プロット分析。

